

第3次角田市食育推進計画

令和6年度～令和17年度

基本理念

基本理念

**食を通じて健康づくり、
人と人とのつながりを育み、
未来へつなげるまち 角田**

本計画では、国及び宮城県の考え方、前計画の評価を踏まえ、生涯を通じた心身の健康を支える食育を推進できるよう上記の基本理念を掲げ、持続可能な食文化の継承、健全な食生活の実践を目指します。

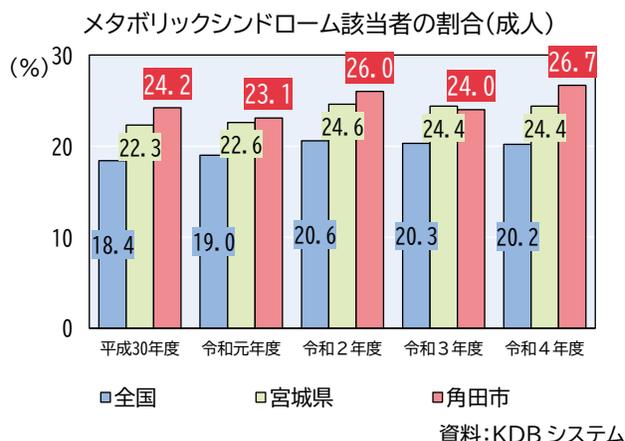
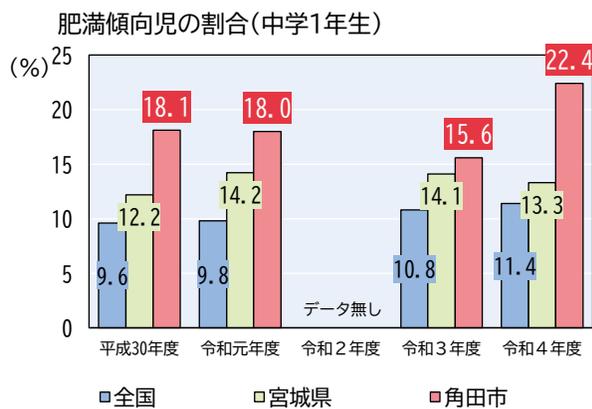
食育とは？

生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるものであり、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができる人間を育てるもの。【農林水産省】

市の現状

肥満傾向の方が多い

全国平均より子供、大人ともに肥満傾向にある方が多い状況です。



郷土料理・伝承料理等が薄れつつある

地域や家庭で教わった郷土料理・伝承料理・家庭料理がある人の割合は低下傾向にあります。

前計画における指標の評価(資料 | 市民アンケート)

指標	前計画策定時(H28)	現状値(R4)
地域や家庭で教わってきた郷土料理・伝承料理・家庭料理がある人の割合	29.7%	23.7%

食生活改善推進員が地域のよりよい食習慣づくりを進めている

角田市における食育は、食生活改善推進員協議会が中心となり推進しています。当協議会は、食を通じた地域の健康づくりを推進するボランティア団体で、食生活改善推進員(R5.4.28 現在 86名)が地域のよりよい食習慣づくりを進めています。

基本目標

基本理念のもと食育を推進していくため、2つの基本目標を掲げます。

食を通して、ふるさとに愛と誇りを感じながら、心豊かな生活を送る。

食を通して、人とのかかわりを楽しみながら、いつまでも健やかな生活を送る。

取り組み内容

視点1

か がやく地元の食材を活用した角田(まち)づくり

方針

個々のライフコースに応じた食育に関する情報発信を継続して進めていくとともに、毎日の生活の中で実践する力を身につけられるように周知啓発を進めます。

市の事業者等との連携を強化し、市民が角田産農産物を購入しやすい環境づくりや生産者への支援に取り組みます。

市民による取組の方向性

- 食に関心を持ち、食への意識と感謝のこころを育てましょう。

行政・関係団体等による取組の方向性

- 小学校での農業体験学習等の取り組みを推進します。
- 生産者と消費者との交流機会を作り地産地消に努めます。

視点2

暮らしを営む源である食に関心を持ち考えて食べる健康づくり

方針

バランスのとれた食事について情報を提供するとともに、地域の活動で食生活の基本的な知識の普及や、多様な世代への啓発の充実に取り組みます。

働き盛り世代への生活習慣病対策のため、食事や減塩の必要性・重要性の啓発活動を充実するとともに、子どもの頃から生活習慣病予防のための食生活について啓発を行います。

社会情勢等により食品の提供形態は変化しているため、柔軟に対応できるよう、市民に食の安全情報を提供するとともに、関係団体と連携して食品の信頼性確保に努めます。

市民による取組の方向性

- 1日3食を心がけ、栄養バランスの良い食事（主食・主菜・副菜を組み合わせた食事）をとりましょう。

行政・関係団体等による取組の方向性

- 生活習慣病予防、食生活改善のための食習慣の啓発を図ります。
- 災害時に備えて、食料の備蓄を推進し、市民に災害時の対応と備蓄について啓発活動を行います。

視点3

だ いじなことは世代間交流を通じて食文化を継承していく心豊かな人づくり

方針

若い世代が郷土料理・行事食や地域の食材に親しむ機会を得るため、保育所、学校給食での取り組みを進めます。

食品ロス削減に向けて、食品の適切な保存方法や衛生的な取り扱い等の食品衛生について理解を深めていくための周知啓発を進めます。

市食生活改善推進員協議会などの団体へ継続的な支援を図るとともに、家庭や地域の実情に合わせた形で食文化の継承を推進していきます。

市民による取組の方向性

- 家族で食事の準備を一緒に行い、食事の楽しさやマナーを伝えましょう。
- 地域の食文化に興味を持ち、家庭や地域に伝わる料理を大切にしましょう。

行政・関係団体等による取組の方向性

- 広報かくだにおいて、角田の郷土料理等の紹介を行い食文化の継承につなげます。
- 保育所、学校給食等で郷土料理等を提供し、子どもへ地域の食文化の継承を図ります。
- 各種伝達講習会で「食生活改善推進員による食育の推進」を進めます。

目標値

項目	対象	現状値 (R4)	中間値 (R12)	目標値 (R16)
視点1 かがやく地元の食材を活用した ^{まち} 角田づくり				
学校給食の地場産野菜等の利用品目数の増加		18品	19品	20品
農業体験学習等に取り組む小学校の割合の増加		83.3%	100.0%	100.0%
生産者と消費者との交流機会の増加		15回	18回	20回
角田産の食材を積極的に選ぶ割合の増加		45.0%	46.1%	47.3%
視点2 暮らしを営む源である食に関心を持ち考えて食べる健康づくり				
適正体重を維持している者の増加（BMI18.5以上25未満の者の割合）		61.9%	64.0%	66.0%
生徒における肥満傾向児の割合の減少	中学1年生 (男子)	24.0%	18.7%	13.3%
	中学1年生 (女子)	21.2%	16.7%	12.2%
朝食を毎日食べる人の割合の増加	20～30歳代 (男性)	62.1%	66.1%	70.0%
	20～30歳代 (女性)	67.9%	69.0%	70.0%
	小学 6年生	92.2%	93.7%	95.3%
ゆっくりよく噛んで食事をする人の割合の増加		50.1%	52.6%	55.0%
主食・主菜・副菜をそろえて食べている人の割合の増加		75.9%	78.0%	80.0%
毎日野菜料理をたっぷり食べる人の割合の増加		42.0%	43.1%	44.1%
ふだんから減塩などに気をつけた食生活を意識している人の割合の増加		60.5%	62.0%	63.5%
栄養成分表示を参考にしている人の割合の増加		40.7%	50.4%	60.0%
望ましい食習慣を維持するため12歳児のむし歯がない人の割合の増加	12歳児	87.8%	90.0%	92.2%
視点3 だいじなことは世代間交流を通じて食文化を継承していく心豊かな人づくり				
地域や家庭で教わってきた郷土料理・伝承料理・家庭料理がある人の割合の増加		23.7%	39.4%	55.0% 以上
夕食の準備の手伝いをしている人の割合の増加	中学 2年生	82.0%	84.1%	86.1%
夕食を家族と一緒に食べている人の割合の増加	小学 6年生	93.3%	94.2%	95.0%
市食生活改善推進員の活動（集会）回数		今後把握	今後設定	今後設定
角田の食を市外の人におすすめしたいと思う人の割合の増加		36.6%	37.5%	38.4%

第3次角田にこにこ健康プラン（第3次角田市食育推進計画）

発行日：令和6年3月

発行・編集：角田市健康長寿課

〒981-1505 宮城県角田市角田字柳町 35-1 ウエルパークかくだ内

TEL：0224-62-1192 FAX：0224-63-3975